（様式９）

〔外国人研究者招へい事業〕
（エイズ対策研究推進事業）

招へい研究実績報告書

（見本）

１　招へいされた外国人研究者
　所属・職名（和文）：○○○○大学○○○研究施設(所)　○○○教授（○○○博士）
　　（英文）：
　氏　　名（和文）：○○○○○○　○○○○○○○○
　　（英文）：

＜１行あけ＞

２　招へい申請者（研究代表者）
　所属・職名：○○○大学○○学部　教授
　氏　　名：○○　○○

＜１行あけ＞

３　受入研究者（研究代表者又は研究分担者）
　所属・職名：○○○○センター○○○○研究所○○○部長
　氏　　名：○○　○○

＜１行あけ＞

４　招へい期間：　平成　　年　　月　　日　～　平成　　年　　月　　日（○○日間）

＜１行あけ＞

５　研 究 課 題：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究

＜１行あけ＞

６　研究活動の概要
　○月○日から○月○日までの間は○○○において○○○のメンバーを交えて○○○○○○に関し意見交換を行った。
　○月○日は○○○○において講演会を開催した（参加者○○○名）。
　○月○日から○月○日までの間は○○研究室において○○○○○○○○○○に関する研究に従事した。

（目的、活動内容を具体的に記載すること）

＜１行あけ＞

７　研究課題の成果
　○○○○○○○○によって○○○○○○の点について○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
．．．

……
……
……
……
……
……○○○が得られた。
‥このうち外国人研究者を招へいしたことによって得られた効果（成果）は、……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……
……である。

８　外国人研究者のレポートは、別添のとおりである。

(注) １　用紙はＡ４判とすること。
　　２　ワープロ、パソコン等で浄書すること。
　　３　招へいされた外国人研究者の所属・職名・氏名は、英文と和文で併記すること。
　　４　研究課題の成果は、最低2,000字以上にまとめて提出すること。
　　５　研究課題名は、招へい申請書に記載された「外国人研究者と共同で行う研究課題名」とすること。